

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄関係一般(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43797">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43797</a>

ライシャワー教授論文

# 日本はアジア政策のかなめ

## 時代遅れの中共政策を改めよ

エドウィン・O・ライシャワー

上院金融委員会国際金融小委員会  
東西貿易聴聞会にて—7月24日

ライシャワー あまり急なことを、あらかじめ冒頭陳述を用意してごなかつたが、ひとまず即席で意見を述べさせていただきます。ただし私の冒頭とすることを基本的な政治的意味での不利な結果を招いていると考える。また飯にわが方が政策面での融和的な線を出したとしても、中国はさほどわが国との貿易を感念にしない方向に進むとは思えない。なぜなら、中国経済は全体として見た場合に弱体であり、大規模な貿易を行なう能力を持たないからだ。ここに私の言う中国とはいずれも共産中国のことである。

中国は貿易できるかぎり、わが国と同じような先進諸国を相手に取り引きしている。現にわが国のきわめて親密な関係、たとえ日本、イギリス、西ドイツ、豪州、カナダなどが中国の主要な貿易の相手国であつても、わが国との相手を余り必要としないかもしれない。したがってわが国が政策を転換したとしても経済的債務に大し変化が起ころうとは思われない。しかし政治的には大きな違いがあると思う。というのは、いまのアメリカの政策は、二つの意味でわれわれにマイナスの影響をもたらしているからである。

わが国と共産中国の間の巨大な対決が起ころうとしている理由は、中国人が外の世界から圧迫を受け

る取り引きしている。現にわが国のきわめて親密な関係、たとえ日本、イギリス、西ドイツ、豪州、カナダなどが中国の主要な貿易の相手国であつても、わが国との相手を余り必要としないかもしれない。したがってわが国が政策を転換したとしても経済的債務に大し変化が起ころうとは思われない。しかし政治的には大きな違いがあると思う。というのは、いまのアメリカの政策は、二つの意味でわれわれにマイナスの影響をもたらしているからである。

わが国と共産中国の間の巨大な対決が起ころうとしている理由は、中国人が外の世界から圧迫を受け

差し当たっては、われわれの側の政策は、われわれの親密な友人や同盟国の一部にも大きな刺激となつておもうので、その点でもわが国の利益にとってマイナスの影響をもたらしていると考えられる。われわれのこうした態度については、とくに日本人は不快感を抱いていると思はれる。日本人は中国とかなりの量の貿易取引を行なっているからだ。もっとも、それが日本の対外貿易量の中に占める割合はわずかに二・五%にすぎない。しかし、中国側の対外貿易に占める対日貿易量は一三%に達すると思ふ。

日本は中国にとつて最大の貿易上のパートナーである。このような中国との経済関係には日本の関心も大きく、したがって中国貿易に対するアメリカの態度は日米関係にもある種の緊張した空気を醸成している。これは日本人自身、中国との貿易がわれわれアメリカ人の気を悪くさせているのではないかと懸念を持っているからである。しかし、日本は対中国貿易を統制してゆかなくてはならないと考えているのだ。これが日米関係

【解説】ハーバード大学教授エドウィン・ライシャワー前駐日大使は七月二十四日、アメリカ上院の金融委員会国際金融小委員会の「東西貿易問題に関する聴聞会」で証言、日米関係およびアメリカの中共政策などについて同小委員会のメンバー、マギー、マスキーら諸議員の質問に答えて所見を明らかにした。ライシャワー教授の証言内容は、東西貿易に問題のある中共貿易と日米関係とのからみ合いを氏一流の見解から説明しようとしたもので、その中で、日米関係の緊張の高まりはベトナム戦争、沖縄復帰と基地問題およびアメリカの中共政策に対する日本人のいらだちが原因である、日本の世論はベトナム戦争に反対であり過激な月米とくに反米感情が激化した、(四)アメリカがこれまでの時代遅れた中共貿易政策を緩和すれば、日米関係は台湾を大陸中国の「自治領」とみなし、北京を正統な中国の首都と認めてはどうか、

【二つの中国】でも「二つの中国」の台湾でもよい、アメリカは中共の国連加盟に反対する従来の立場を放棄して、中共政権にも台湾にも国連議席を与える方途を見いだすべきだと主張。

教授はこの上院小委員会の証言の直前、非公式の対話の席で、沖縄の核抜き返還で合意が可能「それも一九六九年中に日米間の合意成立を予測する発言をして注目を引いた。これに対しては「教授の発言は個人的なもの、ワシントンの公式見解を反映するものにあらず」というアメリカ政府筋の論評があつた。つまり「ベトナム戦争終結のメドがつかぬうちは、たとえ返還時期を決めても戦況の推移によっては時期が大きく変わる可能性がある」と見ているわけである。いずれにしても、ライシャワー教授の見解は、この証言の中にも示されているように、政府当局よりもむしろ議院を動かす、国民一般の啓蒙を促す効果がありそうにも見える。(一)

最大の問題だとおもうかもしれない。もう一つの最も重要な緊張の要因として、私は沖縄をあげてアメリカの基地の問題を挙げたい。沖縄はきわめて特殊なケースである。つまり沖縄本島の基地を維持するためにわれわれはそこに住む八十六万人の日本人を行政的支配下においてきた。それが日米関係にきわめて重大な問題を投げかけたのである。

ほかに、沖縄ほど大きくはないが、いくつかの基地をめぐる問題がある。外国の領土に基地を設けているかぎり、常に何らかの問題が起ころうが普通である。

そして第三の要因は、私は、対中国政策から生ずる緊張を含めた。つまり日米関係における三番目に重要な緊張要因ということがある。日本人は大陸中国との完全な関係が樹立できないでいることに不満を抱いているが、それはアメリカの政策にその要因があると考へている。彼らのこのような考へ方は間違っていると私は思う。しかし、日本人がこのような態度を今なお持ちつづけているのは

係における重大な緊張の一つであり、目下のところわが国との関係にきわめて危険な事態をもたらしているのである。過去七、八年間に、今日ほど日米関係が緊張の度を強めたように見えた時期はなかったのではなからうか。

ほかにいろいろと原因はあるが、これが一つのはっきりした要因であることは間違いない。

アメリカの技術を含む日本製製品の輸出を規制する数々の規則は、とくに明白な刺激要因であると思ふ。これは、皆さんも存じの上うにきわめて重要な日米関係に不都合な影響を及ぼしているかもしれない。日本の会社はアメリカよりもむしろアメリカ以外の諸国からの技術導入をはかりたいと考へるようになるかもしれない。というのは、そうすれば後日、たとえ中共あるいはその他規程にばらばらにその会社の製品を輸出することになった場合にも、面目が起ころうとしないからである。

そこで考へておくべきことは、アメリカの真実的な経済的利害が影響を受けることであり、またそ

最大の問題だとおもうかもしれない。もう一つの最も重要な緊張の要因として、私は沖縄をあげてアメリカの基地の問題を挙げたい。沖縄はきわめて特殊なケースである。つまり沖縄本島の基地を維持するためにわれわれはそこに住む八十六万人の日本人を行政的支配下においてきた。それが日米関係にきわめて重大な問題を投げかけたのである。

ほかに、沖縄ほど大きくはないが、いくつかの基地をめぐる問題がある。外国の領土に基地を設けているかぎり、常に何らかの問題が起ころうが普通である。

そして第三の要因は、私は、対中国政策から生ずる緊張を含めた。つまり日米関係における三番目に重要な緊張要因ということがある。日本人は大陸中国との完全な関係が樹立できないでいることに不満を抱いているが、それはアメリカの政策にその要因があると考へている。彼らのこのような考へ方は間違っていると私は思う。しかし、日本人がこのような態度を今なお持ちつづけているのは

最大の問題だとおもうかもしれない。もう一つの最も重要な緊張の要因として、私は沖縄をあげてアメリカの基地の問題を挙げたい。沖縄はきわめて特殊なケースである。つまり沖縄本島の基地を維持するためにわれわれはそこに住む八十六万人の日本人を行政的支配下においてきた。それが日米関係にきわめて重大な問題を投げかけたのである。

ほかに、沖縄ほど大きくはないが、いくつかの基地をめぐる問題がある。外国の領土に基地を設けているかぎり、常に何らかの問題が起ころうが普通である。

そして第三の要因は、私は、対中国政策から生ずる緊張を含めた。つまり日米関係における三番目に重要な緊張要因ということがある。日本人は大陸中国との完全な関係が樹立できないでいることに不満を抱いているが、それはアメリカの政策にその要因があると考へている。彼らのこのような考へ方は間違っていると私は思う。しかし、日本人がこのような態度を今なお持ちつづけているのは

一つの理由がある。われわれが三十八年前、いまは全く異なる情勢の下で採用した立ち場を変えようとしていないこと、歳月の推移に応じて前進しようとしたことなど、かなり頑固であった点に於いて、われわれの中国に對する姿勢と、つたものの中には、確かに時代遅れだと言えぬものもいくつかある。こうした姿勢を改めるならば——といっても中国側がそれに直ちに反発するとか、われわれと中国との関係に現時的な変化が起るといふわけではない、だが——とにかくそうするに力に關係のある限り、われわれは中国と共存、ゆくゆくは仲直りする道を探し求めているのだということ、そして、それは日本人の望んでいることとあまり変わらないのだ、ということを日本人にははっきり示すことができる。

そうならばまだ、日本人も中国問題をアメリカから押付けられたような感ぜを持たずに、自分身の問題として考へるようになるだらうから、少なくともこの面での日米関係の緊張は取り除かれるのではないかと思ふ。

マギー 私が院入りしている間は、マスコミのインタビューは同様に

九五年の一月であった。それ以来、私は果たしてそうするからか、自信はないが、私の意向が、かゝる重要性だと思つて、私はこの種の障害が、現存する対立を悪化させるとか、はつきりしたものにするだけだと思つたり、おそれるお互いに極端な見方をするので、対立点が余計に目立つのかもしれない。新聞が大きく書き立て、相手のアメリカ



インタビューするライシャワー教授

なり中国に對する判断を形成するのは、このより複雑な見方にはならない。しかも双方の間に接触があれば、こうした極端な見方のトゲをある程度減らすやうに役立つかもしれない。私がこの問題を出した理由はここにあり、もう一つおたずねしたいのは——これは私自身が知っていることなのだが——日本の對中国貿易に對し、アメリカが何か重大な制限を課している事実があるのだらうか、ということである。

ライシャワー 現存する規制というのは、アメリカが与えた技術(ノープ)を含む日本製品に對するもので、これはアメリカと關係があるからこそ制限を受けているのであって、それがいかならぬものにならぬならば、日本側はアメリカ以外の国から技術を導入することになるのだらう。だからといって對中国貿易が日本の將來の貿易に非常な大きな部分を占めるようになるのかどうか、私には分からない。私の推定では大したものではない。私としては、心理的には日本人にとつて大きな問題として映っていると思ふ。

台湾「心理」のとりこ マギー 日本との關係で、アメリカの技術がかなりの一部に對しては、ヒモがついているというところなのだらうか。

ライシャワー アメリカのパテントだと、そういう種類のものではある。それが日本との關係における非常に特殊な例外的な例として、先にも述べたように、われわれが中共對して持っている立ち場と、日本人の立ち場の相違点といふ全体が、日米關係

關係について十分な判例の材料となっていないのは事実である。マギー われわれがもしあなたにどの方向に進むとすれば、たとえは台湾、韓国といった他の国々にとつて、どのような影響を与へるか、教員の意見をうかがいたい。

ライシャワー 私はほとんどこれといった影響があるとは思えない。貿易の経済界に對しての話ではあるが、なるほど台湾などは、私の考へているような對中国政策の転換が起れば、大いに影響することである。これは一応考慮に入れておくべきことだが、それはあくまでも心理的な分野におけるものである。もしわれわれが、つまり北京を首都とする大陸中国のほうに、台湾よりも歴史的な中国であることを認め、台湾は別個の政体として切り離すというのであれば、台湾政府が重大なシフトを受けるのは確実である。ただしこれも心理的なものであることはすでに述べた。

マギー 私の意見では、われわれはあまりにも長い間にわたり、区で統一をあげられないよう苦心して、私達が私考して来た。私はあれが、私共のやり方

とりになつていったと言いたい。私は台湾に對する偉大な実験の成功を喜ぶのにやぶさかではないが、しかし、その成功を喜ぶ心が、同じく正しいことを行なうのをまだ遅くしてはならない

マギー その意味で、分米時点がいつからか分かれぬが、それはたぶん蔣介石の死であるかもしれぬが、当分の間二つの中国について話をわれわれが固守しなければならぬのかどうか、それとも他にきわめて現時的で濶汎の余地のない多くの事柄が山積みになるのを待つ必要があるのかどうか。

ライシャワー 予見しうる將來のことがあるはずはない。おのおのが自分こそ本當の中國だと言いつつ、たぶんわれわれはこの別物とも水久に共存しやうか、これは、われわれがこれをどう論議し、どう表現するか、またどの時点でそれが島りの主張であることに気づくか、といったこととは、まだ最終的にはつきりしてゐるわけではない。

マギー もちろん、北京と台湾を一つと二つに引き寄せる唯一の力は「二つの中国」に對するアメリカの懸念である。蔣介石と毛沢東は、この問題では角張つて、互に意見が一致しない。おのおのが自分こそ本當の中國だと言いつつ、たぶんわれわれはこの別物とも水久に共存しやうか、これは、われわれがこれをどう論議し、どう表現するか、またどの時点でそれが島りの主張であることに気づくか、といったこととは、まだ最終的にはつきりしてゐるわけではない。

歴史を通じて見られたアメリカの對中国、對中間國關係は、どうなつたのか。あなたの判断ではそれはきつていさつぱりと放棄されたのだろうか。我々のほかに、この問題に對する立場も、あなたも同じだ。ライシャワー それはたぶん同

かがあるはずだ。言葉では言い表  
わせない。第二次大戦中、日本に  
はアメリカのための貯水池がない  
というのが一般の感じだったのを  
思い出す。表面だけを見れば確か  
になかったのだが、戦争が終って  
表層の下に非常に深い貯水池が突  
き出たのを、われわれは発見し  
た。以後それが非常に重要なもの  
となった。中国にもこの種の貯水  
池があると想像される。実際にも  
アメリカに対する好意の貯水池が  
世界のいたるところにあると私は  
考えるのだが、アメリカは他國よ  
り高い生活水準を保ってゆくのだ  
らうと、他人のために尽力する点  
で他國よりも大きな関心を寄せる  
だろうと、勝手に決める傾向があ  
る。こうこうたるアメリカ批判に  
耳を傾けるならば、そのような見  
方は生まれないはずである。

マギー あなたのこれまでの報  
告から推して、たとえばユーゴと  
西側の関係とその本質的成果を持  
ち出して、対中関係を開けば同  
じような結果が出るかと主張する  
は、妥当な比較ではない。私の受  
け取り方に間違いはないか。  
ライシャワー そのとおりだ。

そこにはいくつもの大きな相違が  
あると考える。中国の場合はユー  
ゴにはなかった対米憎悪があると  
思ふ。ソ連に對抗するために友人  
を見いださねばならぬという点で  
同じような感情があるわけではな  
い。ユーゴはずっと以前にソ連と  
手を切っているため、もはやその  
ことで中国人ほど感情の高ぶりは  
示していない。したがってユーゴ  
のケースと一緒にするのは妥当な  
類推ではないと私は考える。

心理要因に敏感に  
マギー これは、人々を説得し  
て実行させるのが他の問題よりも  
ややむずかしい問題の一つだと思  
う。人々と言ったのは、わが國の  
国民のことと遠回しに言っている  
のだ。中国と貿易しようとしても  
貿易は大きくないだろうとか、な  
んとかいうのであれば、なぜこの  
件で頭を悩ませるのか。ほとんど  
危険がなくまたはせいぜい最小の  
危険で、われわれは少なくともな  
にかしらの心理的プラスを得るだ  
らうというあなたの論議に、私は  
同意する。特にこうした情勢下で  
は、今ここで論じている方向、す  
なわち、より多くの接触を求め、  
貿易的接触、文化的接触、民衆的  
接触を求め、初期段階に中国人は  
この提案に強硬な反応を見せ  
るだろうことを理解したうえで  
この方向に進むのが好ましい、と  
私は考えた。国民、とり分け同  
民のうちのある種の人々は、青い  
リボンでもつけた小包でもなけ  
れば肩をすばめて受け取ろうとは  
しないだろう。あなたは心理的プ  
ラスと間接的プラスを論じている  
が、行動—職会の立法行動を引  
き出すためにこの問題を売り込む  
のはなかなかねである。それで  
も私は考える。われわれは試みる  
べきだ。

ライシャワー 心理的、政治的  
な事柄がいかに重要かをそろそろ  
理解すべき時だと思ふ。ベトナム  
の災厄は、その心理的な面にわれ  
われは考え及ばなかったがゆえに  
災厄なのだ。われわれはより物質  
的な面だけに目をつけたのだが、  
やがて心理的、つまり北ベトナム  
人、ベトナムその他がどの態度  
が真に物質的なものより強かに重  
要だと気がついた。われわれはす  
こぶる苦い教訓に接したと思ふ。

ライシャワー この地域全体を  
通じてどの國も中共には神話を  
とがらせている。そして多分アメ  
リカの態度はそれ以上に神話過敏  
になっていると思ふが、しかし、  
われわれが貿易する気になっても  
それによってこの神話過敏症がい  
よいよ高まる結果になるとは思わ  
ない。

彼らが注目しているのは、ベト  
ナム戦争のあとわれわれがどんな  
態度をとろうとしているかという  
ことだ。私はしばしば前から、われ  
われがあつた地域である種の孤立主  
義の殻に閉じこもることが考えら  
れると思ふと指摘してきている。  
モンテール スポングもっと早く来れな  
か、われわれはより不可欠だ。

**★殺人犯に一億円の出費**  
 アメリカでは近く、ロバート・ケネディ上院議員暗殺犯人サー・ハン・サハンの裁判が行われることになっている。そのサー・ハンはいまロサンゼルス刑務所で裁判を待っているのだが、殺人犯としてはまだかつて前例のないほど重取り扱いを受けている。

「サー・ハン」の裁判は、裁判所の十二層にあるのだが、裁判所は彼を考へられるあらゆる脅威から守るため、三千万ドル(約一億四千万円)の費用を投入して改築した。これは明らかに五年前にダラスでケネディ大統領暗殺犯人リリー・オズワルドが裁判を受けたときよりも多い。

暗殺者サー・ハンをリッチから守ることは、民主主義の根柢をいくらかでも食い止めるための現実的な方法だ。一つの方法だと考へるべきではない。アメリカの苦悩が、殺人犯サー・ハンの一億円もかけた要護のような裁判によく象徴されている。

非戦略物資の貿易  
 モンデール ライシャワー博士 あなたは中共向け輸出の統制について、現在われわれが東ヨーロッパに対して適用しているのと同じアプローチ、すなわち、戦略物資と非戦略物資を分けて考える方法を提唱するか。  
 ライシャワー それが最善の方法だと思ふ。中共貿易政策をヨーロッパの共産圏に対するそれと同じにすることは心理的に大差結構なことだと思ふ。それは、われわれが中共に対して人種的その他のいかなる区別もつけていないことを示すことになるからだ。  
 モンデール しかし、あなたは「もしそうするとしたら、少なくとも当初はあまり多くの貿易は期待できない。ある程度の時間がかかる」と証言している。  
 ライシャワー ある程度の時間はかかると思ふ。しかし、中共は外貨を非常に欲がっているし、われわれのほうでも常に中共の興術品に興味を抱いてきたから、中共のものがある程度アメリカにはいつてくるかもしれない。それに、

量的には大したことはない。まあ、中共からなければ買えないようなものも二三ある。  
 モンデール その直接的な利益の二つは、中共との非戦略物資貿易に対するアメリカの関税という見地からそれが堂々と行なえるようになること、その結果、現在のこの問題をめぐりアメリカと日本との間に存在する緊張の一部が取り除かれることにならう。あなたはそのような改善だと考へるか。  
 ライシャワー 私はそれがおそらく最も直接的な反応の現われる分野だと思ふ。それが日米関係の中にある一つの緊張を緩和するであろうことは疑いなく、それはまた中共の長目で見れば、それはまた中共の心理状態にも好ましく影響を与えることにならう。  
 モンデール 東ヨーロッパ、それにももちろん中国に対する貿易政策の緩和について常に見られる反対論の一つは、この緩和によって北ベトナムに対する中国の軍事資材供給能力を直ちに増大するということにある。これはマスキー上院議員が先に触れた一般の問題である。あなたは中共との貿易で、

非戦略物資を売るといふのが国の公式政策が、中共の北ベトナムに対する政策、すなわち北ベトナムに資材、兵器を供給する現在中共の政策に何らかの影響を及ぼすと考へられるか。  
 ライシャワー 中共がこれらの物資を供給することがより容易になるというような影響を及ぼすとは考へられない。中共が供給して

七割が対西方貿易  
 モンデール 中共は現在その欲している大部分の物資について自由世界に供給源を見いだすことに困難に直面しているか。換言すればアメリカが非戦略物資の供給者となる用意を持つことは、何らかの実質的な物資ではかの供給源から現在入手できないものを供給することになるか。  
 ライシャワー いや絶対にそういうことはない。中共はすでにその利用できる量をはるかに上回る量の供給源を持っている。中共は満ち足りた注しようとするきわめてはつきりした政策をとっており、いずれか一ヶ国と過度に貿易しない政策である。ある国との協定があまりにも多くなりすぎる傾向になると、次の年にはこれを減らし、どこか他の国に切り替え、経済的に能力があれば西方諸国、先進諸国との貿易を現在の四倍、五倍、あるいは六倍にも増加できることを示そうとしている。したがってアメリカが中共との貿易の用途を持つ諸国に仲間入りしても、何らの影響も及ぼさないだろう。

モントニール さて、数年前に中ソ関係が現在より良かった当時、中共の貿易のうち非常に多くがソ連との貿易であったと思ふが、そのとおりか。  
 ライシャワー そのとおり。一時は七〇％にも達したと思ふ。  
 モンデール それで、中ソ関係にヒビがいった際、中共は外交的にその貿易を西方諸国すなわち自由世界諸国に切り替えねばならなかった、この切り替えをきわめて実際に進めたと思ふか。  
 ライシャワー そのとおり。現在中共の西方諸国との貿易が、年間約二十億ドルに達していると推定している。これは正確であるか。  
 ライシャワー そのとおり。その推定はほぼ正しい。中共との貿易統計を手に入れるのはそう容易ではないが、その貿易の約六〇％ないし七〇％—いや七〇％は自由世界との貿易であると思ふ。  
 モンデール しかしアメリカの場合には、もしアメリカが戦略物資の貿易に対する制限を撤廃しても、中共がアメリカとの貿易に政策的に反対しているため、大した

貿易量になるとは予想しないか。  
 ライシャワー そのとおり。中共は小麦その他この種のものの輸入を必要としている。私は、中共が小売を引き続きアメリカよりもカナダやオーストラリアから輸入したいと思っているものと考へる。しかし将来、時にはアメリカから買うようになるかもしれない。  
 モンデール アメリカの対中共貿易政策が、近年における中共の経済不振と関係があると思ふか。  
 ライシャワー いや、関係はない。明らかに、というのは、中共はおそらく能力いっぱい貿易を現にやっているからである。  
 不利になるアメリカ  
 モンデール もう一つ質問したいが、これは中共よりも日本に貿易がある。中共の西方世界、東ヨーロッパとの貿易の型を見ると、日本との貿易が増大している。それとくに高度の技術分野、電算機、電子機器分野などの貿易が増大しているの印象を受けている。あなたはこの傾向が続くと思ふか。また日本の東ヨーロッパとの貿易の増大を予想してもよいか。  
 ライシャワー その公算はきわめて大きい。もちろん日本はあらゆる可能な地域との貿易を推進しているから、西ヨーロッパでは非常に関心を持っている。ソ連との貿易は言うまでもなく過去数年に大幅に増加しており、六七年の貿易統計は日本の対ソ貿易が対中共貿易を初めて上回ったことを示すものと考えている。日本は東ヨーロッパが入手したいと思ふような物資を持っており、できる限りその力を発揮して生産能力を伸ばしてきたことは確かである。ソ連との貿易は、この点で日本の技術がきわめてめざましい発展を示しているため、日本は電算機や電子機器を東ヨーロッパに供給できる立場にあるが、これはアメリカが日本と競争できる産物であり、アメリカにとってきびしい問題となりそうである。  
 ライシャワー そのとおり。私はあなたの述べたことに全面的に同意する。  
 モンデール 大賛ありがとう、ライシャワー博士、あなたの証言に感謝する。